

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2015年10月11日聖日礼拝

---

「全き心」

詩篇101篇1節-8節

ジョン・オズワルト 博士



# 聖書朗読

## 旧約聖書

### 詩篇101篇1節 - 8節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp923 ~ / 第三版の聖書はp1006 ~

- 1 私は、恵みとさばきを歌いましょう。主よ。あなたに、ほめ歌を歌いましょう。
- 2 私は、全き道に心を留めます。いつ、あなたは私のところに来てくださいますか。私は、正しい心で、自分の家の中を歩みます。
- 3 私の目の前に卑しいことを置きません。私は曲がったわざを憎みます。それは私にまといつきません。
- 4 曲がった心は私から離れて行きます。私は悪を知ろうともしません。

- 5 陰で自分の隣人をそしる者を、私は滅ぼします。高ぶる目と誇る心の者に、私は耐えられません。
- 6 私の目は、国の中の真実な人たちに注がれます。彼らが私とともに住むために。全き道を歩む者は、私に仕えます。
- 7 欺く者は、私の家の中には住みえず、偽りを語る者は、私の目の前に堅く立つことができません。

8 朝ごとに、私は国の中の悪者をことごとく滅ぼします。それは主の都から、不法を行う者をことごとく断ち切るためです。

# 説教

## 「全き心」

詩篇101篇1節-8節

ジョン・オズワルト 博士



## 詩篇101篇:

- ・詩篇19は朝の詩、18篇は日没の詩、101篇は真昼の詩
- ・私たちは真昼に聖く生きられるだろうか？
- ・この詩には(聖い生活について)肯定面と否定面の対比がある
  - 1節:神への賛美VS8節:悪の根絶
  - 2、7節:全き心と全き道 VS 欺きと偽り
  - 3、6節:卑しい心 VS 全き道
  - 4、5節:曲った心と高ぶる目 VS 正しい歩み
- ・この詩は、全き歩みについて語る  
(創世記17:1)

## ・「全き歩み」を妨げるもの

### A. 「心」の問題

#### 1. ヘブル語での「心」とは;

- ・単なる愛情の座ではなく
- ・人格の中心:生活のコントロールパネル
- ・知性、意志、愛情を合わせたもの
- ・「心を尽くして主を愛する」



## 2. アダムの子は、絶望的なほど墮落している

- ・心が曲がってしまった
- ・自己中心に固まっている
- ・自分の道を歩みたい
- ・「プログラム設定」がそうになっている

### 3 . 原因は何か

- ・ 恐れ : 神が支配したら自分の願いが通らない !  
( 創世記 3 章 )
- ・ 神の支配の下から自分を外す → 恐れ の 増大
- ・ その結果は創世記 4 章

B. この問題が詩篇101にどのように表れているか

1. 邪悪さ (3, 8節) - 神と創造のご計画を否定すること
2. 嘘と欺き (7節) - 願望や感覚とは違う真実と反対概念
3. 曲がった心 (4節) - 自分が神、義よりも悪を選ぶ

・ 私たちはどうすればよいのか？

A. 優先順位を思い切って変える

1. 私は本当に何をしたいか？

2. 誰が王座にいるのか？ : 神とその道が私の  
願いであるか？すべてが神の栄光のため  
か？

3. 神の臨在を求める

## B. 関心の焦点を思い切って変える

1. 家にある欺きや偽り(2, 7節)から神への愛と秩序(1, 2節)へ

2. 家の中に許すべきものは何か？

・卑しさ、曲がったこと(3, 6節)、道から外れた生活スタイルから

・真実さ(忠実さ、信頼性)と責むべき所なき心へ

## C. 決然たる態度

1. 「私は憎む」(3節)
2. 「知ろうともしない」(4節)
3. 「まといつかない」(3節)
4. 「断ち切る」(8節)

・それはどのようにして可能となるか？

A. そもそも、聖い生活は可能か

1. 多くの人は不可能という

2. 素晴らしい目標だが到達不可能ともいう

3. しかし、詩篇は理想ではなく、確定的現実を述べている

4. 私たちは神との隔絶なき交わりに歩むことができる

## B. ラディカルな明け渡しをなすべき分野とは:

1. 願いは叶えられないという恐れ、充足感を得られないという恐れ
2. 自分が生涯を支配するという己が道
3. 自分が自分を所有する所有意識



## C. ラディカルな信仰

1. 空しくなるだけではなく、
2. 主がご自身を満たし給うと信じ、
3. 不可能を可能としてくださると信じよう

## D. ラディカルな歩み

1. 悪の小さな部分も「滅ぼそう」
2. それをまといつかせない
3. 神との交わりを保つ
4. 馬鹿がつくほどの正直さ
5. 良い友を選ぶ

## 終わりに

- ・神の恵みを期待しよう
- ・神の喜びなさないものをはっきり否定しよう
- ・神がご計画し給う生涯を歩もう
- ・神の愛が現実化される生涯を求めよう  
—— 唇に歌を与え、一歩ずつ聖さの中に  
引き上げ給うように祈ろう